

がんばる！地域！

vol. 26
清楽

コミュニティの希薄化が課題となっている現在、広川町では、地域のつながりをさらに深めるために「地域コミュニティ推進事業」を進めています。

各行政区では、区民が主役の特徴ある活動が行われています。このコーナーでは、各行政区の取り組みを紹介していきます。第26回は「清楽区」です。

清楽区は耳納連山などの小高い山々がある、緑豊かな行政区です。区の中央を県道久留米立花線が通り、交通環境に恵まれています。

先人から培われてきた人情と絆、伝統と文化を受け継ぎ、区民同士のふれあいと絆を育み、安全安心に住み続けられる地域づくりを行っています。

安全安心に暮らせる地域づくり

子どもから高齢者までが安全安心に生活できるよう、自主防災組織の設立や防災倉庫の設置、消防団指導による防災訓練の実施などに取り組んでいます。交通量が多い県道には信号機の設置を要望し、平成28年3月に新設。歩行者が安全に渡れるようになりました。



信号機の設置



防災倉庫の設置

ふれあいと絆の地域づくり

公民館を拠点に夏まつりや餅つき大会などを行うことで、子どもと高齢者の交流の場をつくり、誰もが笑顔であいさつができる地域を目指しています。

また、活動拠点である公民館の設備の強化を図っています。



夏まつり



餅つき大会

自然と共生した住みよい地域づくり

ごみ回収などの美化活動により、地域環境の保全に努め、住みよい生活空間づくりを行っています。ため池などの自然環境の保持にも取り組んでいます。



環境美化活動



しめ縄づくり



公民館設備の強化

SDGs (持続可能な開発目標)とは、国連で日本を含む全世界が同意した2030年までに達成すべき目標です。

ひろかわSDGsプロジェクト

エスディーゼーズ

SDGs : 目標5「ジェンダー平等を実現しよう」

達成のために広川で頑張っている団体 → 「男の料理教室」

「ジェンダー」という言葉を知っていますか？

生物学的な性区分ではなく、社会的につくられた性区分のことです。「男らしさ」「女らしさ」などの言葉のほか、「男は泣くな」といった価値観や、「男はズボン」「女はスカート」などの服装に至るまで、さまざまな場面で見られます。

広川町では公民館を拠点に、ジェンダー不平等の解決にも繋がる「男の料理教室」が行われています。参加者からは「洗い物など、一部の家事は自分の仕事になっている。それを見た息子もまねをして家事をするようになった」などの声が聞かれ、活動の広がりが見えてきました。



世界には、女性であるというだけで学校に行かせてもらえない、無理やり結婚をさせられる、出産や家事を強いられるなど、深刻な問題がたくさんあります。
 「途上国の話」と片付けてしまいがちですが、私たちの生活する日本でも意識して目を向けると、雇用、給与、家事分担などにおいて、さまざまな課題を抱えていることに気がきます。
 人口の半分を占める女性が、差別により自分の能力を活かさないのは、社会全体にとって大きな損失であることは言うまでもありません。まずは家庭や職場で不平等がないか、話し合ってみましょう。



国際理解教育推進員 糀広大

より深く知るために、次のようなキーワードで検索してみましょう。

ジェンダー	検索	男女 賃金格差	検索
-------	----	---------	----

広川文芸

樋口直利さんの竹細工

7月23日(月)に行われた吉常区のきらめき学習。そこで小学生に竹とんぼづくりを教えたのが、樋口直利さん(吉常区)です。

子どものころから竹を扱っていたという樋口さんは、細かな加工もお手の物。専用工具を使い、木や石などの材料も組み合わせながら、さまざまな作品を生み出しています。取材当日には、トンボやクジラ、飛行機、尺八など多種多様な作品に加え、実際に動かせるミニ芋洗い水車小屋も見せていただきました。